

中国の文化Ⅲ

日中文化交流史

第十二回 「留用」された日本人

アジア太平洋戦争での敗戦の後、海外には多くの日本人が残されていた。その数は？

① 約6万人

② 約60万人

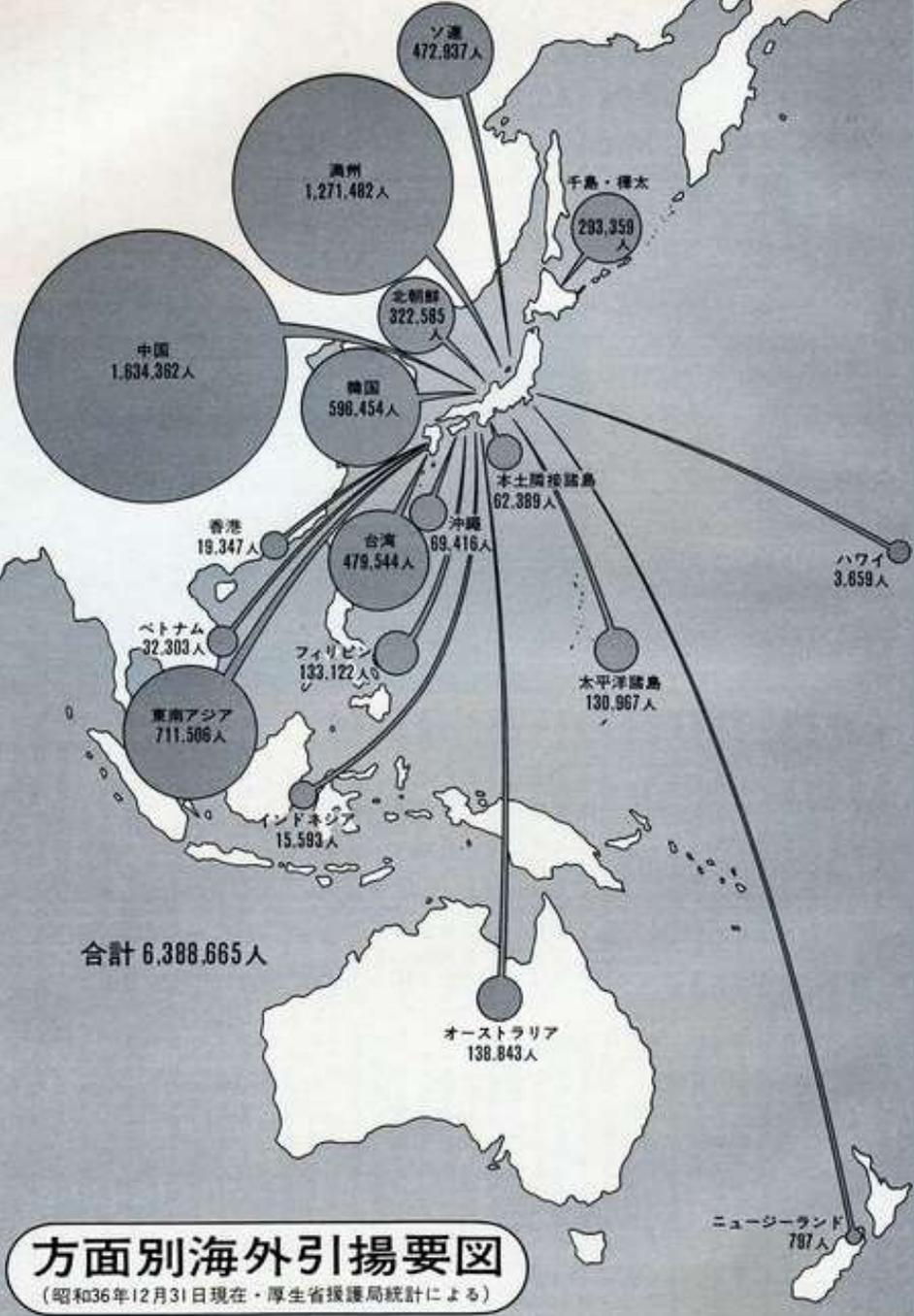
③ 約600万人



敗戦後の海外邦人

〔解説〕

敗戦時、海外には軍人・民間人あわせて六百六十二万人の日本人がいた。



方面別海外引揚要図
(昭和36年12月31日現在・厚生省援護局統計による)

【出典】『一億人の昭和史4』(毎日新聞社1975年)

「留用」された人々

〔解説〕

戦後、海外邦人の集団引揚が行われ、アジアや太平洋の各地から六三九万人が帰国した。その間、ソ連には軍人を中心とする五十八万の日本人が抑留され、過酷な労働によって五万五千人が死亡した。

一方、中国にも「留用」という名のもとに抑留された約一万人の日本人がいた。

かつての敵国で働くことになった彼らは、そこでどのような経験をしたのだろうか。

目次

第一節 国共内戦

第二節 「留用」された日本人

第三節 東西冷戦の中の帰国

第四節 「留用」者の事跡を後世に

A topographic map of China with a green highlight over the eastern and southern regions. The map shows the terrain of China, with the highlighted area covering the eastern coast and the southern part of the country. The text "第一節 国共内戰" is overlaid on the map in white.

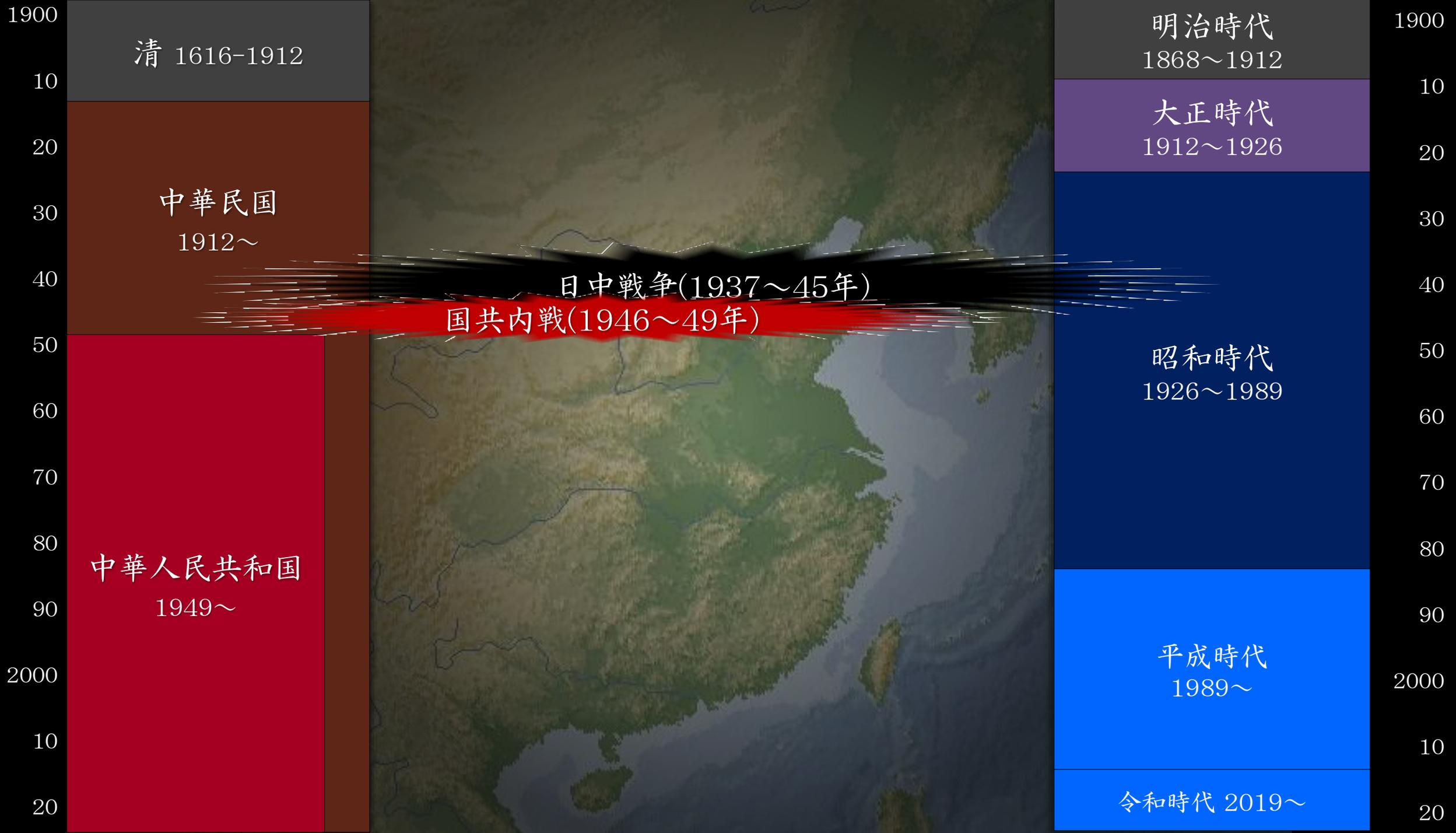
第一節 国共内戰

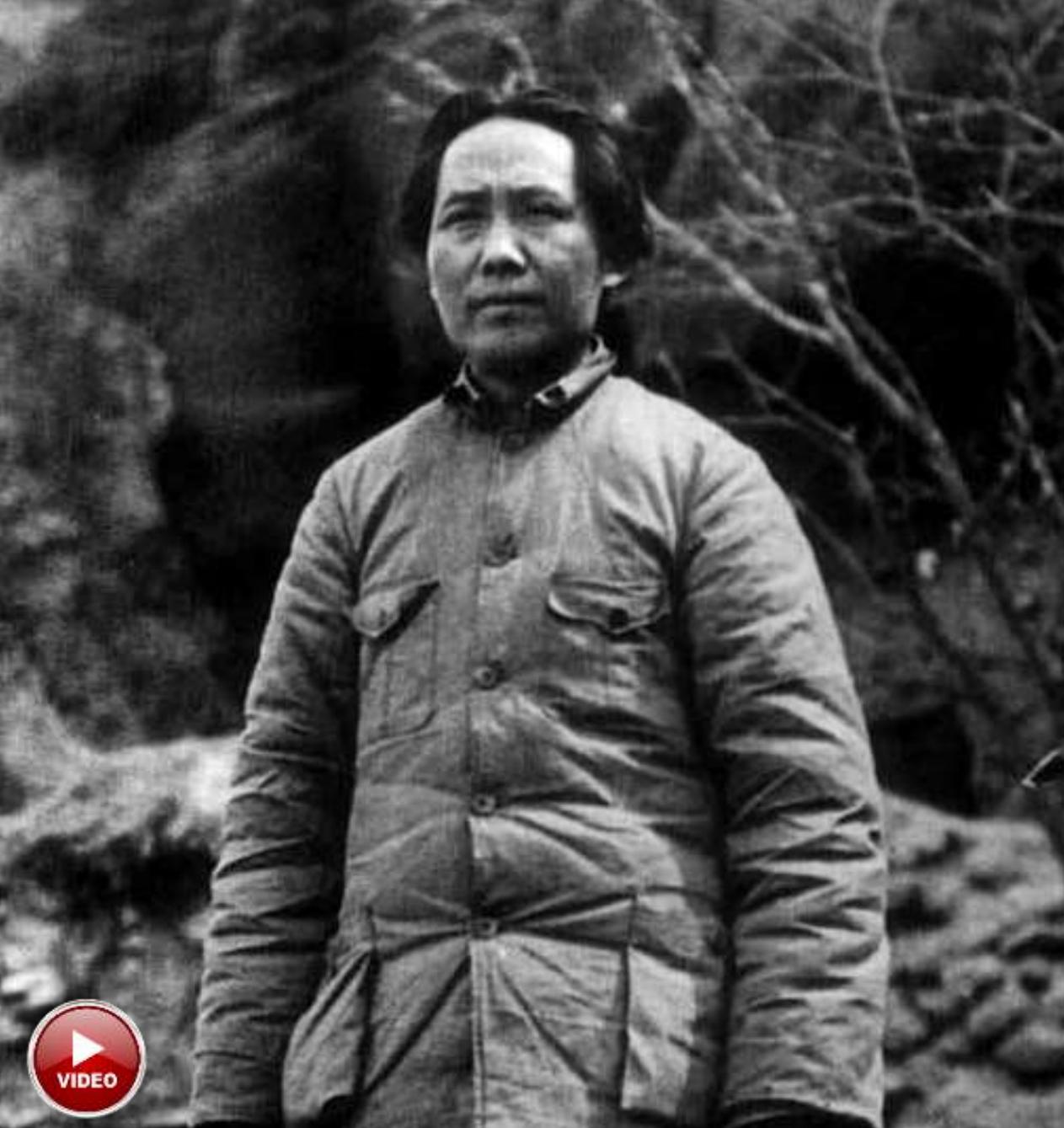
国共内戦

〔解説〕

一九四五年、終戦によって平和な時代を迎えた日本とは対照的に、アジアではその後も戦争の惨禍が続いていた。

中国では終戦の翌四六年、共産党と国民党との間で三年におよぶ内戦が勃発した。





中国共産党の指導者・毛沢東(1893-1976)



中国国民党の指導者・蒋介石(1887-1975)



NHKスペシャル「映像の世紀 独立への道」より (03:30)



第二節 「留用」された日本人

麦倉元（一九一五〜？）

〔解説〕

愛媛県三津浜町の医師の家庭に生まれる。一九四一年、北海道大学医学部を卒業後、軍医候補として満州に渡る。

国共内戦により医療従事者が不足する中、四六年、中国共産党が旧満州で編成した東北民主連軍に「留用」され、五三年に帰国するまで、七年にわたって医療活動に従事した。

〔参考〕 高恩顕主編

『中国人民解放軍第四野戦軍衛生工作史』

（人民軍医出版社二〇〇〇年）



BS.2

NHKスペシャル「『留用』された日本人」より (07:54)



林弥一郎（一九一一～一九九九年）

〔解説〕

大阪府南河内郡藤井寺町の農家に生まれる。中学卒業後、陸軍に入り、関東軍の教育飛行団練成飛行隊長として終戦を迎える。

戦後、中国共産党から空軍の創設に協力するよう求められ、部下三百名とともに「留用」。五六年に帰国した。

〔参考〕中国中日関係史学会編『友誼鑄春秋卷一』

（新華出版社二〇〇二年）

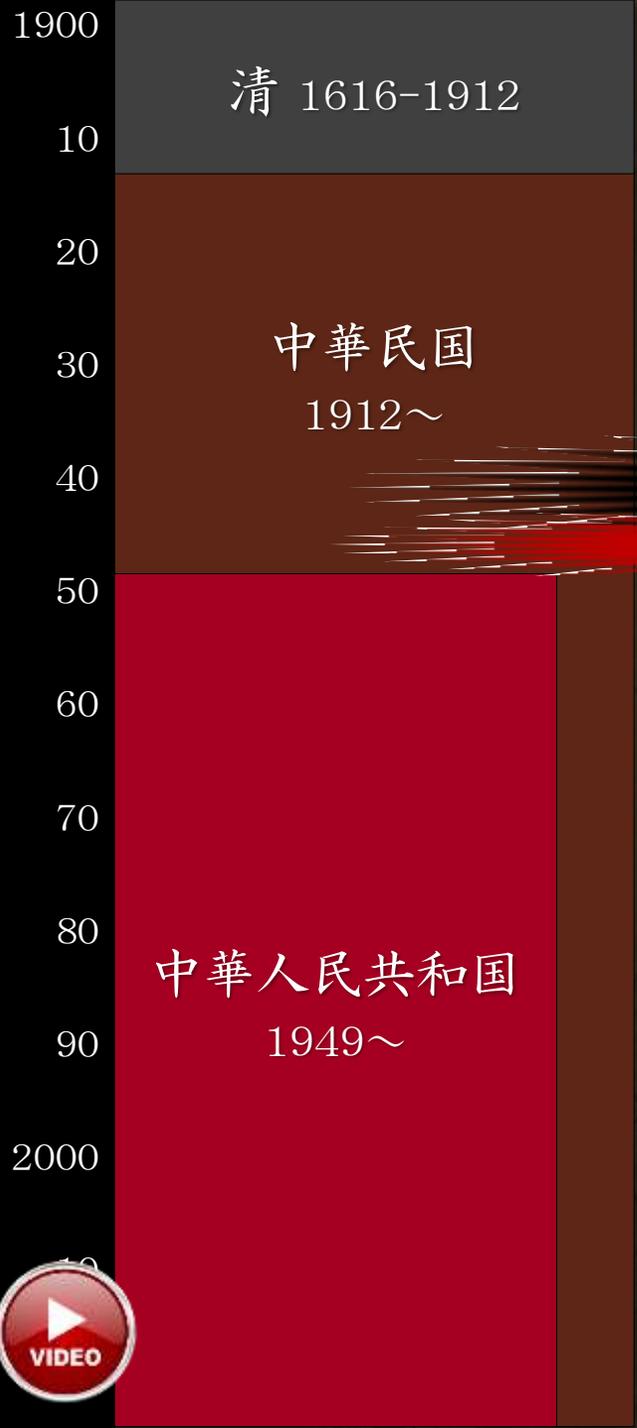


BS 2

NHKスペシャル「『留用』された日本人」より (12:04)



第三節 東西冷戦の中の帰国



日中戦争(1937~45年)
国共内戦(1946~49年)





NHKスペシャル「映像の世紀 独立への道」より (03:30)



蒙古人民共和国
MONGOLIA
1924 独立
1945 国民政府承認

朝鮮民主主義人民共和国
1948.9

大韓民国
1948.8

中華人民共和国
1949.10 中国共産党政府成立

アフガニスタン王国
AFGHANISTAN

パキスタン
1947.8 (BC)

ネパール
NEPAL

インド共和国
1947.8 独立 (インド連邦)
1950.1 共和国成立 (BC)

ビルマ共和国
BURMA
1948.1

ベトナム民主共和国
1945 建国宣言

ベトナム共和国
1950.2 共和国成立
1955.10 共和国成立

カンボディア王国
KAMBODIA
1949

フィリピン共和国
PHILIPPINES
1946.7

アラビア海
Arabian Sea

南シナ海
S. China Sea

ルソン島 Luzon
Baguio

ミンダナオ島
Mindanao

日本
日本海

台湾
中華民國 (1950.12)

マニラ
Manila

ダバオ
Davao

カザク(カザン)共和国
KAZAKH

ウズベク共和国
UZBEK

アフガニスタン
AFGHANISTAN

パキスタン
PAKISTAN

インド
INDIA

アラビア海
Arabian Sea

カザク(カザン)共和国
KAZAKH

ウズベク共和国
UZBEK

アフガニスタン
AFGHANISTAN

パキスタン
PAKISTAN

インド
INDIA

アラビア海
Arabian Sea

蒙古人民共和国
MONGOLIA

中華人民共和国
CHINA

ビルマ共和国
BURMA

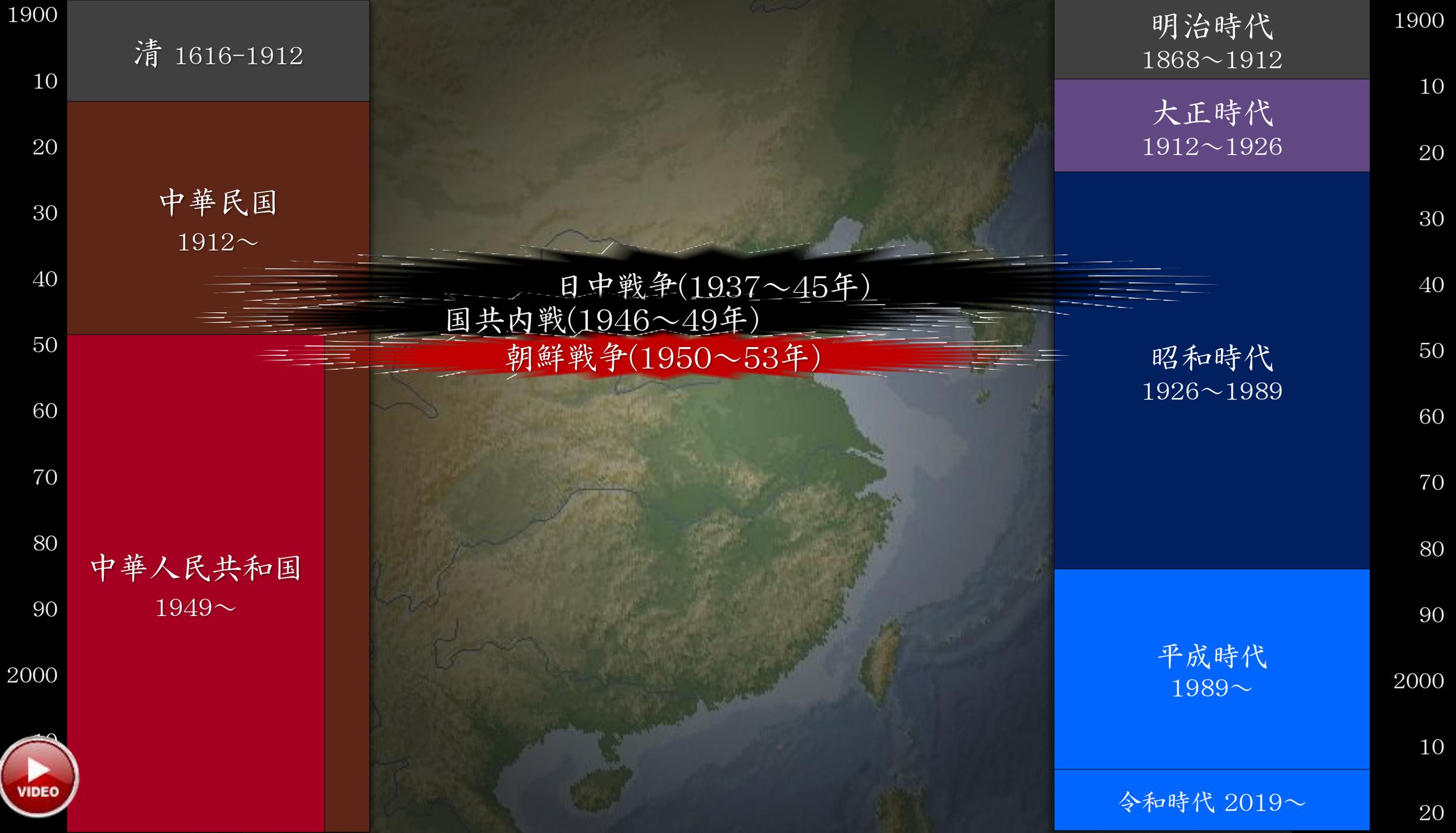
タイ王国
THAILAND

カンボディア王国
KAMBODIA

ベトナム共和国
VIETNAM

フィリピン共和国
PHILIPPINES

中華人民共和国
CHINA

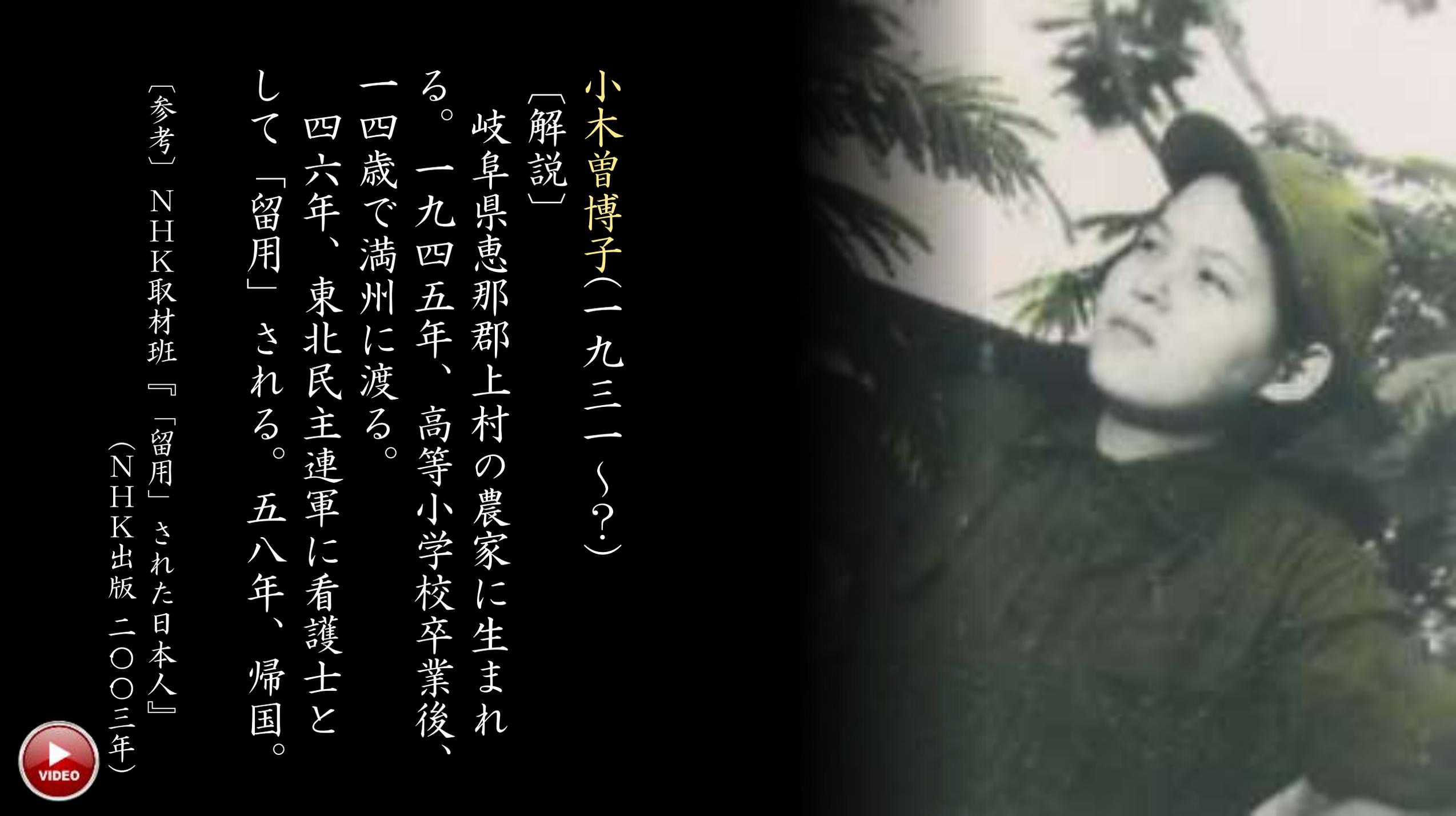


朝鮮戦争―東西対立の時代へ

〔解説〕

国共内戦に勝利した中国共産党は一九四九年、中華人民共和国の成立を宣言する。

しかし、米ソ両国を中心とする東西対立が深まる中、建国からわずか一年後の一九五〇年、中国は朝鮮戦争に参戦する。



小木曾博子（一九三一〜？）

〔解説〕

岐阜県恵那郡上村の農家に生まれる。一九四五年、高等小学校卒業後、一四歳で満州に渡る。四六年、東北民主連軍に看護士として「留用」される。五八年、帰国。

〔参考〕NHK取材班『「留用」された日本人』

（NHK出版二〇〇三年）





NHKスペシャル「『留用』された日本人」より (06:13)

朝鮮戦争―東西対立の時代へ

〔解説〕

朝鮮戦争の開戦から四か月後、劣勢に陥った北朝鮮を支援するため、中国が参戦した。

米韓を中心とする国連軍との戦いの中、日本人飛行教官の指導を受けた中国空軍のパイロットたちは大きな戦果を挙げ、米軍をして「共産中国は一夜にして世界の空軍大国の一つになった」と驚嘆せしめた。



王海（一九二五〜？年）

〔解説〕

一九四六年、東北民主連軍航空学校に入学。林弥一郎ら日本人飛行教官の指導を受ける。

朝鮮戦争の際、米軍機九機を撃墜。八五年、人民解放軍空軍司令官となった。

〔参考〕于文

「中国空軍創設につくした日本人教官」

（『人民中国』二〇〇六年三月号）

劉玉堤（一九二三～？年）

〔解説〕

一九四六年、東北民主連軍航空学校に入学。林弥一郎ら日本人飛行教官の指導を受ける。

朝鮮戦争の際、米軍機六機を撃墜。のち北京軍区空軍司令官となった。

〔参考〕

「劉玉堤中将」

中国空軍網 <http://www.plaaf.net>

二〇一三年十二月一二日閲覧



「留用」者の帰国交渉

〔解説〕

朝鮮戦争によって東西対立が深まる中、「留用」者たちの帰国交渉が始まった。

しかし西側世界⇨資本主義の日本と、東側世界⇨社会主義の中国との間で行われた交渉は難航を極めた。一方、GHQの占領下にあった日本では、官公庁や企業などから共産党員やそのシンパを罷免解雇するレッドパーズが行われ、人々の心の中に強い反共意識が植え付けられていった。



BS 2

NHKスペシャル「『留用』された日本人」より (07:49)

東西冷戦下の帰国

〔解説〕

一九五三年、日本赤十字社や国会議員有志の努力によって「留用」者たちの帰国が実現した。

しかし、久しぶりの故国で待っていたものは、東西冷戦下の日本社会の厳しい現実であった。



中共帰還
第一随

舞鶴

NHKスペシャル「『留用』された日本人」より (05:42)



第四節 「留用」者の事跡を後世に

YOUYI ZHU CHUNQIU 卷一

为新中国做出贡献的日本人

友谊铸春秋

中国中日关系史学会 编

新华出版社

「留用」者の事跡を後世に

〔解説〕

中国の研究者やジャーナリストが組織する中国中日関係史学会は、「留用」により新中国の建設に協力した日本人の事跡を後世に伝えるため、関係者の証言を集めた記録二巻を出版した。

・同学会編『友谊铸春秋卷一』

(新华出版社、二〇〇二年)

・同学会編『友谊铸春秋卷二』

(新华出版社、二〇〇五年)

参考文献

- NHK取材班『「留用」された日本人——私たちは中国建国を支えた』(NHK出版 二〇〇二年)
- 中国中日関係史学会編『友誼鑄春秋 卷一』(新華出版社、二〇〇二年)
邦訳、武吉次朗訳『新中国に貢献した日本人たち——友情で綴る戦後史の一幕』(日本僑報社二〇〇三年)
- 中国中日関係史学会編『友誼鑄春秋 卷二』(新華出版社、二〇〇五年)
邦訳、武吉次朗訳『続新中国に貢献した日本人たち 友情で綴る戦後史の一幕』(日本僑報社二〇〇五年)